

宮城県監査委員告示第14号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第4項の規定により実施した公営企業会計の定期監査の結果は次のとおりです。

平成18年8月25日

宮城県監査委員 菊地 浩

宮城県監査委員 藤原 範典

宮城県監査委員 阿部 徹

宮城県監査委員 谷地森 涼子

監査は、水道用水供給事業会計、工業用水道事業会計、工業用地等造成事業会計、地域整備事業会計及び病院事業会計に係る平成17年度の事業について実施しましたが、その概要は別紙のとおりです。

監査に当たっては、地方自治法第2条第14項及び第15項の規定の趣旨に沿って行われているかについて、特に意を用いて行いました。

その結果、公表すべき指摘事項は、下記のとおりでした。

なお、軽易な事項については、関係機関に注意をしました。

記

1 企業局公営事業課

(1) 工業用水道事業

仙南工業用水道事業について、返済の見込みのない一般会計借入金の累積及び精算の見込みのない建設仮勘定の累積が認められたので、治水への転換など七ヶ宿ダム使用权の取扱いを含めた事業のあり方を早急に検討するとともに、現行の会計処理の妥当性を検証し、今後の処理方針を明確にする必要がある。

平成17年度末 建設仮勘定残高 11,880,212,679円

一般会計からの借入金残高 7,319,952,000円

(2) 地域整備事業

仙台港国際ビジネスサポートセンターのオフィスエリアにおける入居率の向上については努力が認められるものの、なお入居率が低いことから引き続き対策を講じる必要がある。

平成17年度 入居状況 13区画中8区画入居(3団体)(H18.3.31現在)

運用資産収益 29,596,834円(ホール等使用料を含む。)

参考：前年度 入居状況 13区画中8区画入居(3団体) (H17.3.31現在)
運用資産収益 34,121,536円(ホール等使用料を含む。)

2 病院局県立病院課

各病院において過年度分の入院収益等未収金が認められたので、引き続き収納促進及び未収金の発生防止のための対策を講じる必要がある。

平成17年度末過年度未収金 75,000,969円(こども病院を含む病院計)

参考：前年度末過年度未収金 57,204,119円(")

3 循環器・呼吸器病センター

入院収益等において、未収金の縮減について努力が認められるものの、なお過年度の未収金が認められたので、引き続き収納促進と未収金の発生防止対策を講じる必要がある。

平成17年度末過年度未収金 10,596,019円

参考：前年度末過年度未収金 11,713,963円

4 精神医療センター

入院収益等において、過年度の未収金が認められたので、引き続き収納促進と未収金の発生防止対策を講じる必要がある。

平成17年度末過年度未収金 34,745,104円

参考：前年度末過年度未収金 26,842,724円

5 がんセンター

入院収益等において、過年度の未収金が認められたので、引き続き収納促進と未収金の発生防止対策を講じる必要がある。

平成17年度末過年度未収金 20,887,519円

参考：前年度末過年度未収金 17,664,207円

定期監査概要

宮城県水道用水供給事業会計

実施した監査箇所
 企業局公営事業課
 大崎広域水道事務所
 仙南・仙塩広域水道事務所

監査年月日
 平成18年7月10日
 平成18年6月7日
 平成18年6月13日

本事業は、市町村の水道事業に対し水道用水を供給するもので、その概要は、次のとおりである。

事業名	水源	計画給水量	給水能力	供給対象市町村	事業(供給)開始年度
大崎広域水道事業	漆沢ダム 南川ダム	1日最大 12万 ^m	1日最大 10万1,150 ^m	大崎市, 栗原市, 加美町 涌谷町, 美里町, 大和町 大郷町, 富谷町, 松島町 大衡村 (10市町村)	昭和55年度
仙南・仙塩広域 水道事業	七ヶ宿ダム	1日最大 55万 3,300 ^m	1日最大 27万 9,000 ^m	仙台市, 塩竈市, 白石市 名取市, 角田市, 多賀城市 岩沼市, 蔵王町, 大河原町 村田町, 柴田町, 亘理町 山元町, 松島町, 七ヶ浜町 利府町, 富谷町 (17市町)	平成2年度

平成17年度における事業実績は、次のとおりである。

(自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)

事業名	給水量	決算額		経営状況	
		事業収益	事業費用	当年度純利益	当年度未処分利益剰余金
大崎広域 水道事業	千 ^m 21,746	千円 3,433,370	千円 3,114,842	千円 301,284	千円 301,284
仙南・仙塩広域 水道事業	75,019	13,559,182	13,220,254	331,647	331,647
計	96,765	16,992,552	16,335,096	632,931	632,931

(注) 1 金額は、千円未満を切り捨てている。

2 決算額の金額は消費税を含むが、経営状況の金額は消費税を除いた経理処理に基づく額である。

宮城県工業用水道事業会計

実施した監査箇所
 企業局公営事業課
 工業用水道事務所
 大崎広域水道事務所

監査年月日
 平成18年7月10日
 平成18年6月13日
 平成18年6月7日

本事業は、工場及び事業所に対し工業用水を供給するもので、その概要は、次のとおりである。

事業名	水源	給水能力	給水区域	事業(給水)開始年度
仙塩工業用水道事業	大倉ダム	1日最大10万m ³	仙台市，塩竈市，多賀城市，七ヶ浜町 利府町，大和町，富谷町（7市町）	昭和36年度
仙台圏工業用水道事業	釜房ダム	1日最大10万m ³	仙台市，名取市，多賀城市，七ヶ浜町 利府町（5市町）	昭和51年度
仙台北部工業用水道事業	漆沢ダム	1日最大 5万8,500m ³	大崎市，加美町，大和町，大衡村 （4市町村）	昭和55年度

(注) 上記以外に、仙南地域における工業用水道の水源を確保するため「七ヶ宿ダム」(取水量1日最大5万5,900m³相当)の維持管理費を負担している。

平成17年度における事業実績は、次のとおりである。

(自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)

事業名	給水量	決算額		経営状況	
		事業収益	事業費用	当年度純利益	当年度未処分利益剰余金 (未処理欠損金)
仙塩工業用水道事業	千m ³ 12,292	千円 702,529	千円 649,221	千円 50,394	千円 374,444
仙台圏工業用水道事業	16,433	421,481	421,501	3,670	564,755
仙台北部工業用水道事業	7,919	529,182	480,801	47,931	1,528,924
計	36,644	1,653,192	1,551,523	94,655	589,724

(注) 1 金額は、千円未満を切り捨てている。

2 決算額の金額は消費税を含むが、経営状況の金額は消費税を除いた経理処理に基づく額である。

宮城県工業用地等造成事業会計

実施した監査箇所
 企業局公営事業課
 仙台用地造成事務所

監査年月日
 平成18年7月10日
 平成18年6月27日

本事業は、仙台港とその背後地の用地を取得し、工業用地等の造成・分譲を行っている。
 平成17年度においては、売却により49.81m²を処分した。

平成17年度における事業実績は、次のとおりである。

(自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)

事業名	決算額		経営状況	
	事業収益	事業費用	当年度純利益	当年度未処分利益剰余金
工業用地等造成事業	69,837 ^{千円}	94,313 ^{千円}	24,476 ^{千円}	126,692 ^{千円}

(注)金額は、千円未満を切り捨てており、消費税が含まれている。

宮城県地域整備事業会計

実施した監査箇所
企業局公営事業課監査年月日
平成18年7月10日

本事業は、地域整備の促進と県土の均衡ある発展を目的として平成9年度に創設された事業である。
平成17年度においては、仙台港国際ビジネスサポートセンターの管理運営及び他会計に対する資金の貸付事業を行った。

平成17年度における事業実績は、次のとおりである。

(自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)

事業名	決算額		経営状況	
	事業収益	事業費用	当年度純損失	当年度未処理欠損金
地域整備事業	126,542 ^{千円}	242,898 ^{千円}	116,474 ^{千円}	786,703 ^{千円}

(注) 1 金額は、千円未満を切り捨てている。

2 決算額の金額は消費税を含むが、経営状況の金額は消費税を除いた経理処理に基づく額である。

宮城県病院事業会計

実施した監査箇所
 病院局 県立病院 課
 循環器・呼吸器病センター
 精神医療センター
 がんセンター

監査年月日
 平成18年7月10日
 平成18年6月14日
 平成18年6月15日
 平成18年6月15日

本事業において経営する病院は、次のとおりである。

病院名	病床数	診療科目	開始年月日
循環器・呼吸器病センター	200床（一般病床 150床） （結核病床 50床）	呼吸器科, 消化器科, 循環器科, 呼吸器外科, 心臓血管外科, 放射線科, 麻酔科 （7科）	昭和27年12月15日
精神医療センター	345床（精神病床）	精神科, 神経科, 歯科（3科）	昭和32年 4月12日
がんセンター	383床（一般病床。うち緩和ケア病床 25床）	内科, 呼吸器科, 消化器科, 外科, 整形外科, 形成外科, 脳神経外科, 泌尿器科, 婦人科, 眼科, 耳鼻いんこう科, 放射線科 麻酔科 （13科）	平成 5年 4月 1日 <small>（昭和42年4月1日 成人病センター）</small>
こども病院	160床（一般病床）	新生児科, 総合診療科, 血液腫瘍科, 内分泌科, <u>循環器科</u> , 神経科, 外科, <u>心臓血管外科</u> <u>脳神経外科</u> , 整形外科, 形成外科, 泌尿器科, 産科, 眼科, 耳鼻咽喉科, 歯科口腔外科, 児童精神科, リハビリテーション科 放射線科, 麻酔集中治療科（20科）	平成15年11月11日

（注）病床数は、平成16年度と比べ精神医療センターが9床の減少、こども病院が36床の増床となっている。また、診療科目は下線部の3科が新設されている。

平成17年度における事業実績は、次のとおりである。
 （自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日）

病院名	入院患者数 （延）	外来患者数 （延）	決算額		経営状況	
			事業収益	事業費用	当年度純利益 （損失）	当年度未処分 利益剰余金 （未処理欠損金）
	人	人	千円	千円	千円	千円
循環器・呼吸器病センター	38,360	36,270	3,112,054	3,427,205	364,267	1,836,103
精神医療センター	105,553	37,934	2,720,495	2,674,556	34,399	1,076,210
がんセンター	119,188	82,040	7,666,903	7,793,320	220,250	209,719
こども病院	37,003	33,594	4,617,376	4,616,476	895	485,748
計	300,104	189,838	18,116,828	18,511,557	549,223	1,455,360

- （注）1 金額は、千円未満を切り捨てている。
 2 決算額の金額は消費税を含むが、経営状況の金額は消費税を除いた経理処理に基づく額である。
 3 県立病院課の費用等は、各病院に配分している。